

外郭団体経営改善計画書

(平成26年～28年度)

一般財団法人摂津市施設管理公社

摂津市施設管理公社における現状分析シート

分野	現状	課題・問題点	目標
<p>経営・団体運営</p>	<p>平成18年6月に公布された公益法人制度改革3法が平成20年12月1日から施行され、公益法人制度改革がスタートした。改正前の民法第34条に設立根拠を持つ財団法人である管理公社は、まず一般財団法人（非営利型）に移行した後、事業の推移等を見定めた上で、適切な時期に公益財団法人への移行を目指すことを方針として作業を進め、平成25年4月1日に「一般財団法人摂津市施設管理公社」として新法人に移行した。</p> <p>摂津市の指定管理者制度の導入により、平成18年度から管理公社は、それまで管理を受託していた市民文化ホールなど11施設に加え、新たにふれあいルームなど5施設の指定管理者となった。</p> <p>平成26年度から新たな指定管理の期間が始まり、市民文化ホール・コミュニティプラザ等5施設の指定管理者として業務を行っている。</p>	<p>これまでの管理公社は、市の公の施設の管理運営と、文化事業の実施をその主な事業としてきた。特に公の施設の管理運営事業は、管理公社設立の目的であり、主な収益源であったが、管理委託制度から指定管理制度への移行など、管理公社の置かれている状況は厳しいものがある。</p> <p>これからの管理公社は、これまでの事業を継続しつつ、長年培ってきたノウハウを活かした事業の拡大と、阪急摂津市駅前の南千里丘を中心とした、まちづくりへの参画、また、事業のソフト化に取り組んでいくための新たな組織強化を進めていく必要がある。</p>	<p>有機的連携に基づき文化を育む施設管理を行う。</p> <p>職員一人一人がやる気と使命感を持った組織が構築されている。</p>

摂津市施設管理公社における現状分析シート

分野	現状	課題・問題点	目標
財務	<p>管理公社の収入は全体の99%を摂津市からの指定管理業務及び委託業務にかかる管理料が占め、独自の財源はわずかである。</p> <p>そのなかで事業費用全体は、事業収入と同様の推移を示している。しかしその構成を見ると、18年度以降、管理施設が増加したため物件費が大幅に増加しているが、人件費はほとんど増えていない。給与等の人件費は、定期昇給により増加し、業務の拡大は定期昇給以上の増加要因になるが、管理公社としての経費削減努力の結果が反映していると考えている。</p> <p>事業費用の内およそ30～40%は、人件費である「給与等」が占めており、その75～80%はプロパー職員および高年者職員等への「給料手当」となっている。</p> <p>プロパー職員の給料は、初任給で市職員よりも10号下位にある。</p>	<p>現在の管理公社職員の給料は、市職員に比して本給で10号低く設定されている。しかし、指定管理者制度の導入などの環境変化に対応していくためには一層の抑制努力が求められており、一般法人移行後の給与に関する規則では、給料表を9級制から7級制に改めた。これにより、将来の給与負担に一定の抑制がかけられている。</p> <p>しかしながら、今後ともその管理には注意を払っていく必要がある。</p>	<p>人件費の管理・抑制が徹底されている。</p>
		<p>基本財産1億円の運用益が銀行等の預金利率の低下により見込めなくなったこと、高齢者を多数雇用することにより得られる高齢者多数雇用奨励金の廃止等、時代の変化に伴い管理公社の設立当初に見込まれていた収入が確保できないことから、指定管理業務に加えてそれ以外の収入を得る方法を見出す必要がある。</p>	<p>新たなソフト事業の創造と展開が図られている。</p>

摂津市施設管理公社における現状分析シート

分野	現状	課題・問題点	目標
<p style="text-align: center;">人材育成</p>	<p>高年者事務職員の退職を不補充とし、臨時職員で対応するなどの措置を講じ、平成26年度の職員は、プロパー職員10名、高年者職員2名、任期付職員6名の18名体制である。</p>	<p>管理公社設立から23年が経過し、プロパー職員の年齢構成は50代3人、40代5人、30代2人と年々上昇していることから、職位の配置計画と採用計画を見直す時期に来ている。</p> <p>そのなかで、職員の能力向上を目的として内部研修を実施すると共に各種団体や関係団体が実施する研修に参加し人材育成に努める必要がある。</p> <p>公の施設を長期安定的に管理運営していくためには、在職期間が短くならざるを得ない高年者事務職員や任期付職員では安定的な経営のためのノウハウの蓄積という点で限度がある。</p>	<p>職員研修の定例化が実現されている。派遣研修が計画的に実施されている。人間基礎教育が実践されている。</p>

摂津市施設管理公社における現状分析シート

分野	現状	課題・問題点	目標
事業	<p>管理公社は行政と市民との中間項として位置する存在であり、市の総合計画に示された協働を実現していくことのできるポジションにある。</p> <p>平成24年度から、市民文化ホールでの事業ノウハウを活かす具体的な取り組みとして、市と関係事業者、市民の協働の取り組みである「南千里丘 Rock Museum」を開催した。</p> <p>この取り組みは、平成22年3月に摂津市駅が、同年7月にコミュニティプラザがオープンし、次第に住民も増えている南千里丘エリアに若い人を呼び込み、新たな賑わいを創り出そうという取り組みである。主催者である摂津市と管理公社に加えて、(有)ジャックライオン、三井不動産レジデンシャル(株)、(株)ユニチカエステート、南千里丘まちづくり協議会、香千商店会、Casual Restaurant石亭、(公社)摂津市シルバー人材センターが、それぞれの力を出し合って参加している。</p>	<p>南千里丘まちづくり事業 「南千里丘 Rock Museum」 「南千里丘 Rock Museum」は、まだ数は少ないが市民ボランティアの参加もあった。初めての取り組みであり、まだまだ改良する点が多いが、将来は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に高校生や大学生の参加を求め、より広い層にアピールする企画を展開する。 ・出演者、実行委員、ボランティアスタッフ及び過去の来場者による口コミのPR効果を高め、集客を強化する。 ・境川せせらぎ緑道をイベント会場として生かし、コミプラと文化ホールを連結することによって、南千里丘エリア全体を面として賑わいを演出する。 ・地元香千商店会の参加を拡大し、まちの賑わいを創り出していく。 <p>などの展開を考えており、若い市民層に認知された企画として発展させていく必要がある。</p>	<p>南千里丘エリアに協働による新たな賑わいが創造されている。</p>

摂津市施設管理公社における現状分析シート

分野	現状	課題・問題点	目標
事業	<p>管理公社は行政と市民との中間項として位置する存在であり、市の総合計画に示された協働を実現していくことのできるポジションにある。</p> <p>平成25年度からコミュニティプラザの屋上庭園を活用し「南千里丘 夕涼み会」開催した。この取り組みは、近隣の自治会、住民、商店会及び施設利用者に交流の場を提供すると共に、新たな利用者の拡大に努め、地域に親しまれる施設を目指し、施設に事務所を置くシルバー人材センター、保健センター、男女共同参画センター、市民活動支援課と管理公社が協力し、職員が手作りで実施している。</p>	<p>南千里丘まちづくり事業 「南千里丘 夕涼み会」 会場の規模から施設近隣の自治会及び市民への案内にとどまっており、来場者の安全確保を図りつつ事業規模の拡大を図る必要がある。</p>	<p>南千里丘エリアに協働による新たな賑わいが創造されている。</p>
	<p>文化事業としては、以前開催していた市民講座や文化講座が廃止され、コンサートや落語会等が限定的に実施されている。他に市民対象事業として囲碁将棋大会、摂津いきいき塾等を実施している。</p> <p>市民が個々に楽しむことができる、様々な文化関連の市民活動が展開されている。</p>	<p>既存の文化事業は継続していく必要があると共に、文化関連の様々な市民活動については、参加者が個々に楽しむものから一つの段階として、市民の相互交流の増進を図る取り組みに発展させ、多面的な取り組みが必要である。</p>	<p>既存事業の継続と新たな自主事業の展開により市民文化の向上が図られている。</p> <p>既存の事業、管理公社が持つ市民団体とのつながり、施設の管理運営のノウハウを活かし、多様な取り組みのもと、組織化、交流を促す支援活動が展開されている。</p>

摂津市施設管理公社 行動計画（具体的取組み）設定シート

分野	現状分析による課題・問題点	課題・問題を解決するための行動計画（具体的取組み）
経営・団体運営	<p>これまでの事業を継続しつつ、長年培ってきたノウハウを活かした事業の拡大と、阪急摂津市駅前の南千里丘を中心とした、まちづくりへの参画を進めていく必要がある。</p>	<p>効率的・効果的な施設の管理運営 平成26年度から管理公社が指定管理者として管理運営を行うコミュニティプラザは、「南千里丘まちづくり構想」に基づき「市民の新たな交流拠点として、様々な世代や文化の交流機能を創出する」ためのシンボル施設として、平成22年7月にオープンした。そこには、管理公社が長年管理運営してきた旧総合福社会館の機能に加えて、保健センター、男女共同参画センター、シルバー人材センターがビルドインされると共に、市民交流や生涯学習活動のセンター機能を持たせるための会議室等が設けられている。 同様に管理公社管理運営を行っている市民文化ホールは「南千里丘まちづくり構想」のエリアにあり、機能が重複しているところもある。 利用者の目的によって使用する施設を相互に案内、また、両施設が連携してイベントを実施するなど、南千里丘エリアに配置された市民文化ホールとコミュニティプラザを一体管理することで、市民の利便性を向上させるとともに、施設利用の有機的連携と柔軟化を図る。 また、施設の保守点検業務等も両施設を一体契約とすることで経費削減を図る。</p>
	<p>事業のソフト化に取り組んでいくための新たな組織体制の強化を進めていく必要がある。</p>	<p>組織体制の強化 全体ミーティングの実施 全体ミーティングを実施し、各施設や部門が抱える問題点、事業の進捗状況等、職員の共通認識を深めると共に問題解決に取り組み連携を図る。 働く環境の整備 職場環境や職員の福利厚生等、働く環境を整備し職員の労働意欲向上を図る。 経営強化のための組織統合を検討 経営の合理化と強化を目的とした外郭団体の組織統合を検討する。</p>

摂津市施設管理公社 行動計画（具体的取組み）設定シート

分野	現状分析による課題・問題点	課題・問題を解決するための行動計画（具体的取組み）
財務	<p>管理公社の人的経費は市職員と比べて少ない現状ではあるが、今後ともその管理には注意を払っていく必要がある。</p>	<p>人件費の管理・抑制 管理公社においては、将来的に見た人件費を抑制し公の施設の管理運営コストの削減を意図した給料表の見直しと、職員の勤務条件を見直し間接的に人件費の抑制を図るため休暇制度の見直しを平成25年度に実施した。今後においてもその効果を確認すると共に管理公社の財務状況に即した管理・抑制を検討する。</p>
	<p>指定管理業務に加えてそれ以外の収入を得る方法を見出す必要がある。</p>	<p>事業のソフト化 指定管理者制度の導入などの環境変化に対応し、このような状況を乗り越えていくためには、新たな業務の領域を開拓する必要があり、業務のソフト化、つまり事務部門やイベント部門への業務の拡大がその一つの選択肢になりうる。その際必要なのは、公益性の確保と独立性の強化という2つの視点であり、この2つの視点を共に満たす業務のソフト化の方法として当面考えられるのは、市の業務の内、外部化可能なものを受託することではないかと考えている。 現在、各課が行っている業務の内、コア業務とそれ以外を分け、各種団体の事務局に関する事務や共催イベントの事務処理などコア業務でないものは可能であれば外注化することにより、総コストの削減が可能になる。このような業務はそれぞれの単位としては小さく、民間で受託する事業者は現在のところほとんどない。また、市民の個人情報を扱うケースも少なからず有りうる。そのような事業を、市が設立した組織である管理公社が受託することは十分可能であろうし、市民の理解も得られるのではないだろうか。このような取り組みは、市の行革を推進するものであると共に、その収益を公益事業として市民に還元していく仕組みを作れば、市と管理公社双方がWin Winの関係をつくることに結びつくと考える。</p>

摂津市施設管理公社 行動計画（具体的取組み）設定シート

分野	現状分析による課題・問題点	課題・問題を解決するための行動計画（具体的取組み）
<p style="text-align: center;">人材育成</p>	<p>管理公社設立から23年が経過し、プロパー職員の年齢構成は50代3人、40代5人、30代2人と年々上昇していることから、職位の配置計画と採用計画を見直す時期に来ていると言える。</p> <p>そのなかで、職員の能力向上を目的として内部研修を実施すると共に各種団体や関係団体が実施する研修に参加し人材育成に努める必要がある。</p>	<p>職員研修の定例化 施設の設置目的の理解、市民ニーズの理解、施設を活用したサービスの提供、市民への対応能力、業務を適正に行うための正確な知識の習得を目的とした職員研修を定期的実施。</p>
		<p>派遣研修の実施 新しい職場、新しい業務、新しい人間関係を経験し、職員の視野を広げるため派遣研修を実施する。また、市からも管理公社へ職員を派遣し、法人の業務運営について内部から把握した上で適切な指導監督を行うことを目的とした人事交流ができないか協議を進める。</p>
		<p>人間基礎教育の実践 月1回、職員による施設周辺の清掃活動を行い、人間基礎教育における奉仕の精神を職員が理解する。</p>
	<p>初めての取り組みであり、まだまだ改良する点が多いが、将来は、「実行委員会に高校生や大学生の参加を求め、より広い層にアピールする企画を展開する。」、「出演者、実行委員、ボランティアスタッフ及び過去の来場者による口コミのPR効果を高め、集客を強化する。」、「境川せせらぎ緑道をイベント会場として生かし、コミプラと文化ホールを連結することによって、南千里丘エリア全体を面として賑わいを演出する。」、「地元香千商店会等の参加を拡大し、まちの賑わいを創り出していく。」などの展開を考えており、若い市民層に認知された企画として発展させていきたい。</p>	<p>南千里丘まちづくり事業「南千里丘 Rock Museum」 「南千里丘 Rock Museum」の取り組みは、コミュニティプラザと市民文化ホールを有機的につないでまちの賑わいを創り出すものであり、双方の連携が不可欠なイベントである。継続して実施し、軽音楽を通して南千里丘エリアに高校生・大学生を中心とした若い人を呼び込み、新たな賑わいを作り出す。 事業実施5年目終了時点で、次年度以降の方向性について再検討する。</p>

摂津市施設管理公社 行動計画（具体的取組み）設定シート

分野	現状分析による課題・問題点	課題・問題を解決するための行動計画（具体的取組み）
事業	<p>会場の規模から施設近隣の自治会及び市民への案内にとどめており、来場者の安全確保を図りつつ事業規模の拡大を図る必要がある。</p>	<p>南千里丘まちづくり事業「南千里丘 夕涼み会」 コミュニティプラザの屋上庭園を活用し、花火大会に合わせてミニコンサートを実施し、近隣の自治会、住民、商店会及び施設利用者へ交流の場を提供するとお共に新たな利用者の拡大に努め、地域に親しまれる施設を目指す。</p>
	<p>教育委員会所管である公民館と事業が競合することから縮小され、現在では市民文化ホールを利用したコンサートや落語会等に限定して事業を実施している。これらの事業は「市民文化の向上」を図るという点では意義を持っており、今後とも継続していくべき事業であるが、それを「市民の相互交流の増進」を図る取り組みにまで発展させていくためには、より多面的な取り組みが必要である。</p>	<p>新しい自主事業の実施 市内では、自治会やボランティアなどの公益的活動のほか、文化、スポーツ活動など、さまざまな市民活動が展開されている。特に文化、スポーツ活動では、それが個人的な楽しみの段階から市民交流にまで発展し、いきいきした市民生活を支えるものになるためには、多様な取り組みと組織化、交流を促す支援活動が必要であり、その点で管理公社の持つ市民団体とのつながりや、長年の施設の管理運営で得られたノウハウを活かすことができる。管理公社の自主事業としては、これまで継続して開催してきた「摂津市囲碁将棋大会」があるが、平成24年度から新しい取り組みとして「摂津いきいき塾」を始めた。このような取り組みが、今後どのように展開していけるか検討する。</p>

摂津市施設管理公社 経営改善計画

分野	行動計画 (具体的取組み)	進捗状況			自己評価(団体)	所管課評価(市)	総合評価	
経営・団体運営	効率的・効果的な施設の管理運営	目標	有機的連携に基づき文化を育む施設管理を行う。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	利用者の目的によって使用する施設を相互に案内、また、両施設が連携してイベントを実施するなど、南千里丘エリアに配置された市民文化ホールとコミュニティプラザを一体管理することで、市民の利便性を向上させるとともに、施設利用の有機的連携と柔軟化を図る。	年次計画	コミュニティプラザと市民文化ホールとの連携を強化し、利用者の利便性向上と効率的な管理運営を行い経費削減を図る。	コミュニティプラザと市民文化ホールとの連携を強化し、利用者の利便性向上と効率的な管理運営を行い経費削減を図る。	コミュニティプラザと市民文化ホールとの連携を強化し、利用者の利便性向上と効率的な管理運営を行い経費削減を図る。			
	指針該当項目(一)	実績						
	組織体制の強化「全体ミーティングの実施」	目標	職員一人一人がやる気と使命感を持った組織が構築されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	月1回、管理公社の全体ミーティングを実施し、各施設や部門が抱える問題点、事業の進捗状況等、職員の共通認識を深めると共に問題解決に取り組み連携を図る。	年次計画	職員が一丸となって問題解決に取り組む。	職員が一丸となって問題解決に取り組む。	職員が一丸となって問題解決に取り組む。			
	指針該当項目(一)	実績						
	組織体制の強化「働く環境の整備」	目標	職員一人一人がやる気と使命感を持った組織が構築されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	人件費の抑制を図る一方で、職場環境や職員の福利厚生等、働く環境を整備し職員の労働意欲向上を図る。	年次計画	職員厚生会の活用を検討。	職員厚生会活用の運用開始及び他の職場環境整備を検討。	継続して検討。			
	指針該当項目(一)	実績						

摂津市施設管理公社 経営改善計画

分野	行動計画 (具体的取組み)	進捗状況			自己評価(団体)	所管課評価(市)	総合評価	
		目標	平成26年度	平成27年度				平成28年度
	組織体制の強化 「経営強化のための経営統合を検討」	目標	組織体制の強化					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	経営の合理化と強化を目的とした外郭団体の組織統合を検討する。	年次計画	他市の実施例を情報収集。	公社内部で検討。	市所管課及び関連の外郭団体と協議。			
	指針該当項目(一)	実績						
財 務	人件費の管理・抑制	目標	人件費の管理・抑制が徹底されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	将来的に見た人件費を抑制し公の施設の管理運営コストの削減を意図した給料表の見直しと、職員の勤務条件を見直し間接的に人件費の抑制を図るため休暇制度の見直しを平成25年度に実施した。今後においてもその効果を確認すると共に管理公社の財務状況に即した管理・抑制を検討する。	年次計画	効果を管理し、状況に応じて対応策を検討。	効果を管理し、状況に応じて対応策を検討。	効果を管理し、状況に応じて対応策を検討。			
	指針該当項目⑤)	実績						
	事業のソフト化	目標	新たなソフト事業の創造と展開が図られている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
市の各課が行っている業務をコア業務とそれ以外を分け、各種団体の事務局に関する事務や共催イベントの事務処理などコア業務でないものの内、外部委託が可能な事務を行革の受け皿として管理公社が受託する。	年次計画	市の担当課と外部委託可能な事務があるか協議。	外部委託可能な事務について予算化。	可能な業務から順次実施。				
指針該当項目⑤	実績							

摂津市施設管理公社 経営改善計画

分野	行動計画 (具体的取組み)	進捗状況			自己評価(団体)	所管課評価(市)	総合評価	
		目標	平成26年度	平成27年度				平成28年度
人材育成	職員研修の定例化	目標	職員研修の定例化が実現されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	施設の設置目的の理解、市民ニーズの理解、施設を活用したサービスの提供、市民への対応能力、業務を適正に行うための正確な知識の習得を目的とした職員研修を定期的実施。	年次計画	外郭団体の合同研修会を実施。	外郭団体の合同研修会を実施の他、独自の研修を実施する。	外郭団体の合同研修会を実施の他、独自の研修を実施する。			
	指針該当項目(一)	実績						
	派遣研修の実施	目標	派遣研修が計画的に実施されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	新しい職場、新しい業務、新しい人間関係を経験し、職員の視野を広げるため派遣研修を実施する。また、市からも管理公社へ職員を派遣し、法人の業務運営について内部から把握した上で適切な指導監督を行うことを目的とした人事交流ができないか協議を進める。	年次計画	研修計画及び人事交流について検討。	可能な場合は派遣研修を実施。	継続して実施するかを検討。			
	指針該当項目(一)	実績						
	人間基礎教育の実践	目標	人間基礎教育が実践されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	月1回、職員による施設周辺の清掃活動を行い、人間基礎教育における奉仕の精神を職員が理解する。	年次計画	職員が月1回の施設周辺の清掃活動を実施。	職員が月1回の施設周辺の清掃活動を実施。	職員が月1回の施設周辺の清掃活動を実施。			
	指針該当項目(一)	実績						

摂津市施設管理公社 経営改善計画

分野	行動計画 (具体的取組み)	進捗状況			自己評価(団体)	所管課評価(市)	総合評価	
事業	南千里丘まちづくり事業 「南千里丘 Rock Museum」	目標	南千里丘エリアに協働による新たな賑わいが創造されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	軽音楽を通して南千里丘エリアに高校生・大学生を中心とした若い人を呼び込み、新たな賑わいを作り出す。	年次計画	実行委員会組織の在り方を明確にし、集客を強化する。	継続実施に向け事業の充実を図る。	継続実施を検討。			
	指針該当項目⑤	実績						
	南千里丘まちづくり事業 「南千里丘 夕涼み会」	目標	南千里丘エリアに協働による新たな賑わいが創造されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	コミュニティプラザの屋上庭園を活用し、花火大会に合わせてミニコンサートを実施し、近隣の自治会、住民、商店会及び施設利用者に交流の場を提供すると共に新たな利用者の拡大に努め、地域に親しまれる施設を目指す。	年次計画	継続実施しつつ、次年度以降の開催について検討する。	継続実施しつつ、次年度以降の開催について検討する。	継続実施しつつ、次年度以降の開催について検討する。			
	指針該当項目(一)	実績						
	新しい自主事業の実施	目標	管理公社が持つ市民団体とのつながり、施設の管理運営のノウハウを活かし、多様な取組みのもと、組織化、交流を促す支援活動が展開されている。					
	具体的内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	過去に管理公社が実施していた各種講座及びイベントを市民のニーズに適した新たな手法で実施する。	年次計画	前年度に実施した事業を継続実施しつつ次年度の新規講座実施に向けて情報を収集。	前年度に実施した事業を継続実施しつつ次年度の新規講座実施に向けて情報を収集。	前年度に実施した事業を継続実施しつつ次年度の新規講座実施に向けて情報を収集。			
	指針該当項目⑤	実績						